

今回は2001年より小学校英語指導に関わり、人とのつながりに役立つ「コミュニケーションツール」としての英語を目標に、子どもたちが自然に体得できる環境づくりを目指して日々活動されている佐々木さんの実践報告です。

2016年7月号

# J-SHINE 通信



佐々木深幸さん

J-SHINE小学校英語上級指導者。小学校教師を経て、2007年に指導者資格を取得。2001年より千葉市内の公立小学校のべ8校にて英語活動を支援。現在も千葉市内の小学校で活動中。

## ■ J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

自分の子どもが6年生の時に通っている小学校から、英語活動を支援してもらえないだろうかというお話をいただき、子どもが卒業してすぐに支援活動を開始しました。小学校教員の免許があったので、6年間支援を続けていましたが、J-SHINEの資格がある事を知り、小学校英語教育を体系的にも理論的にも学べる事は大きな意義があると思い、資格を取得しました。その後、授業時間数等の条件を満たし、当時の学校長推薦をいただき、上級指導者資格試験を受け、上級指導者資格を取得しました。



写真1

## ■ 現在の活動状況

私が活動している千葉市では、市内すべての公立小学校5・6年生にネイティブのALTを配置していますので、私は1年生から4年生までの児童の英語活動を支援しています。

現在、私が活動している小学校は早い時期より、小学生に対する英語活動の重要性に着目しており、私は2001年より継続して活動に参加させていただいています。また、過去に英語活動を研究していたため、全校の児童・教職員の英語活動に対する意識が高く、円滑な活動が可能となっています。活動に当たっては、学級担任の先生とのTT活動が重要になってきますが、1年生から4年生という事で、児童の発達段階や興味・関心の対象を念頭に置いたカリキュラム案を学校の方に年度始めに提案しています。担任の先生方とは英語活動前後のわずかな時間にもコミュニケーションを欠かさないように心掛けています。また、同学年には同じ内容の英語活動をしますが、担任の先生との話し合いにより、クラスの実態に合わせた活動をしています。活動では、担任の先生と必ず一緒に活動をして見せる事で、児童はより楽しく臆することなく活動に入っていきます。(写真1)

また、1年生から4年生までの英語活動では、基本的にアルファベットは書きませんが、必要に応じて書いて見せ、「R」や「L」といった日本人にとって難しい発音の場合等、絵も描いて、理解の補助に役立っています。(写真2)

1年生から4年生の間にどれだけ英語に興味・関心を持ち、英語を好きになってくれるかが、5年生からの教科書テキストを使用している円滑な英語活動につながるため、手に触れられる具体的な教具や手作りの教材を駆使したり、音や色といった聴覚的・視覚的に訴える物を用意したりします。(写真3) 1年生で12色を歌とともに教え、3年生になったら形とともにゲームで定着を図るといった体系的な活動も心掛けています。

JTEは、児童も日本語が通じるからという安心感から校内でも気軽に声を掛けてきますし、現在私が活動している小学校は、今年で16年間も継続して活動していますので、かつて教えた児童が「先生と初めてやった英語が楽しかったから、教員になって小学生に英語を教えたい」と言って教育実習生になって来た時などは本当に嬉しく思いました。

年度終わりに児童が感想文や寄せ書きをくれ、今までに衣裳ケース3箱以上。良い思い出であり、宝物です。



写真 2



写真 3

■ 今後の展望・課題・目標

今後ますます日本の英語教育は加速度的に重要度を増していくと考えられます。また、2020年には、東京オリンピックも行われ、英語は全日本人にとっても必修の言語となっていくと思われます。しかし、その一方で、「小学生のうちから英語なんて要らない」とか「早い」といった意見も、稀ではありますが根強く聞かれます。私は1年生に対して初回の活動で必ず「英語を勉強するのは世界中の人と仲良くするためです」と話しています。英語を「勉強」としてだけでなく、人とのつながりに役立つ「コミュニケーションツール」として自然に体得できる環境づくりができるような小学校が目標です。



写真 4

最後に、小学校指導者資格をお持ちの先生方には、実践と経験を積み、より広く、深く児童に向き合える上級指導者資格を取得されますことをお薦めします。小学生相手だから、簡単な英語を知っていれば大丈夫なんてとんでもない事です。子どもだけに遠慮がありません。思いもよらない単語をきいてきたり、クイズで出してきたりします。そんな時も明るく楽しく相手ができるすてきな上級指導者を目指せば、素晴らしいJTEだと思います



写真 5

- 写真 1 担当教師と TT で本日の英語活動の内容を楽しく伝える
- 写真 2 「ぐう」の ROCK と「錠前」の LOCK の違いを絵と発音ではっきり知らせる
- 写真 3 色と図形が視覚的に学べる手作り教材 児童がけがをしないように角を取ったパウチにして加工
- 写真 4 低学年が喜ぶ野菜や果物の手に触れることができる具体的な教具（模型）
- 写真 5 数字を板書して練習

\* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2016 年 7 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>